

基準ごとの自己評価

基準Ⅰ 教育理念・教育目的

1. 観点ごとの自己評価

観点Ⅰ－1 教育理念・教育目的は自養成所の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性はあるか

点検Ⅰ－1－1 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している。

1－2 教育理念・教育目的は、法との整合性がある。

【観点到係る状況】

教育理念・教育目標は、「学生便覧」に明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。医療を取り巻く環境の変化、社会が求める看護師の資質を捉え見直し妥当性を検討している。目的は学校教育法に基づき保健師助産師看護師法に従っている。

《資料（データ）》 学生便覧、ホームページ、学校案内

【分析結果とその根拠理由】

教育理念・教育目的は「学生便覧」に明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。医療を取り巻く環境の変化、社会が求める看護師の資質を捉え見直し各項目の内容を具体的に整理している。目的は学校教育法に基づき保健師助産師看護師法に従っており、看護師を養成する学校としての指定及び文部科学省からの認可を受けている。

観点Ⅰ－2 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか

点検Ⅰ－2－1 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。

2－2 教育理念・教育目的は、実際に学生の学習の指針となっている。

【観点到係る状況】

本学の理念・目標は校舎エントランスに掲示するとともに「学生便覧」「教育要綱」「臨地実習要綱」「シラバス」に明示している。学年別到達目標も定め、各オリエンテーションや教科目開始時に繰り返し説明することで、具体的学習活動に繋ぐように認識を強化している。本校の教育理念に則り、3年間の看護基礎教育で看護師としての資質（人物）育成の到達目標を念頭に置き、様々な場面を通して育成し、段階的に評価してその時点での到達度を見極め、その後の課題を明確にして取り組む目的で、人物評価を実施している。方法としては、学生は入学時オリエンテーションにおいて、目標と到達目標、各項目の説明を受け理解する。学生用の資料を手元に置き機会あるごとに確認し、現状を客観視して自己育成の意識を強化して実行に繋ぐ。各学年末に自己評価するとともに、学年担当教員からの他者評価を受け、到達度とその後課題を明らかにする。3年次卒業前の時期に最終の両者評価を行い、卒後の自己育成の指針としている。到達項目は、12項目あり、さらに各項目3項目の細目が設定されており、評価は5段階となっている。

《資料（データ）》 学生便覧、教育要綱、実習要綱、授業概要

【分析結果とその根拠理由】

本学の理念・目標は校舎のエントランスに掲示するとともに「学生便覧」「教育要綱」「臨地実習要綱」「シラバス」に明示している。オリエンテーションや教科目開始時に繰り返し説明することで、具体的な学習活動に繋ぐようにしている。また、自己の到達度をその段階において客観的に評価することで、目標を明らかにして学生と教員間で共通理解し努力できるようにしている。

観点 I-3 養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているのかについて述べているか

- 点検 I-3-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。
- 3-2 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べている。
- 3-3 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。

【観点に係る状況】

本校の理念・目的は「学生便覧」「教育要綱」「臨地実習要綱」に明示している。入学時のオリエンテーションやカリキュラム内容を段階的に確認し、具体的な教育活動に繋ぐように認識を強化している。また「ホームページ」「学校案内」「学内玄関ホール」に掲示・記載し、学内外へ提示している。

《資料（データ）》 学生便覧、ホームページ、教育要綱、臨地実習要綱、学校案内

【分析結果とその根拠理由】

本学の目的及理念を明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。以上のことから看護専門学校としての目的・内容を明確に定め周知している。

観点 I-4 看護、看護学教育、学生観について、教師の教育活動の指針になるように明示し、実際に指針となっているか

- 点検 I-4-1 教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している。
- 4-2 看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている。

【観点に係る状況】

本校の理念・目的は「学生便覧」「教育要綱」「臨地実習要綱」に明示している。入学時のオリエンテーションやカリキュラム内容を段階的に確認し、具体的な教育活動に繋ぐように認識を強化している。また「ホームページ」「学校案内」「学内玄関ホール」に掲示・記載し、学内外へ提示している。

《資料（データ）》 学生便覧、ホームページ、教育要綱、臨地実習要綱、学校案内

【分析結果とその根拠理由】

本学の目的及理念を明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。以上のことから看護専門学校としての目的・内容を明確に定め周知している。

観点 I-5 養成する看護師等が卒業時点においてどのような資質を有するべきかを明示し、その資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当であるか

点検 I-5-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している。

5-2 卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。

【観点に係る状況】

本学の目的及び目標、卒業時の期待する像は「学生便覧」に明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。医療を取り巻く環境の変化、社会が求める看護師の資質を捉え、見直しを重ね妥当性を検討してきた。

検討の過程を通し各項目の内容を具体的に整理し、段階的に評価している。

《資料（データ）》 学生便覧、ホームページ、学校案内

【分析結果とその根拠理由】

卒業時の期待する像は「学生便覧」に明記するとともに、「ホームページ」「学校案内」にも記載し学内外へ提示している。医療を取り巻く環境の変化、社会が求める看護師の資質を捉え、見直しを重ね各項目の内容を具体的に整理し、段階的に評価している。

2. 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

本校は、看護専門職業教育を目的とする専門学校であり、設置の目的が具体的で明確である。長い歴史・伝統を持つことから社会的にも認められている。

日々変化する社会状況から期待される看護師像を学生たちに理解させるために、年度ごとの始業式・終業式では、学校長・教務課長代理より本校の目的に関して想起させながら年度初め・年度終わりを迎えさせている。また、日々の行動やクラスでの話し合いの際には「どのような看護師を目指しているのか」「そのために身につけなければならないのは何なのか」等を投げかけ、考えさせている。

【改善を要する点】

本校の教育理念を明確に浸透・認識される必要があるが、現時点でどのように認識されているのかを図る調査方法は見出されていない。

3. 基準 I の自己評価の概要

本校では、医療や社会を取り巻く変化を受けて、設置認可と同時に理念・目的・目標の見直しを行ってきた。学則及び便覧にも記載している。平成 17 年度からはホームページ及び入学案内にも記載している。

本校の基本理念は、「高度医療の先端を担う大学病院で活躍するに相応しい良看護師の育成を目標に、附属病院との連携を図り、地域との連携を重視した社会のニーズに対応できる良看護師の育成」であり、教育理念として「看護師としての必要な専門知識と実践力を修得させ、よき社会人としての人格の育成に努めるとともに、保健・医療・福祉の分野はいうまでもなく、広く社会に貢献できる看護師の育成」である。教育目的である「優秀な看護師の育成」は保健師助産師看護師法に従い、学校教育法に基づき、看護専門課程を設けている。

本校の目的及び目的に基づく具体的な教育内容を記載している学生便覧を年度初めに全教職員に配布し周知を行っている。また、全学生に配布し、入学時のオリエンテーションや教育展開毎のオリエンテーション等、折に触れて説明し周知を図っている。同時に社会に対してもホームページ及び入学案内にも記載することで公表している。

本校の教育理念・目的は、機会を捉えて説明しており、教職員・学生に周知されているものとは考えているが、その浸透度を教職員、学生に認識されているかを把握するための調査を行い客観的にデータ化する必要がある。